

平成 22 年度 第 4 回経営協議会議事録

日 時 平成 22 年 11 月 26 日（金） 15 時 00 分～ 17 時 05 分

場 所 事務局大会議室

出席者 石川、石村、伊藤、北原、草間、杉田、
伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山の各委員

欠席者 川勝、松井の各委員

陪席者 大戸監事、塩田監事
中村、佐藤、太田の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成 22 年度第 2 回経営協議会議事録（案）及び平成 22 年度第 3 回経営協議会議事録【メール審議】（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 役員報酬規程等の一部改正について

2 教職員就業規則等の一部改正について

山崎委員及び総務部長から、人事院勧告に基づく国家公務員の給与法の一部改正等に伴う役員報酬規程及び教職員就業規則等の一部改正について、資料 1・2 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

（意見交換で出された主な意見等）

〔外〕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等〕

⊗：浜松地区の地域調整手当を 1% アップしたのは評価できる。今後、財政状況にもよるが、さらに静岡・浜松同率とすべく努力願いたい。

⊗：浜松地区の地域調整手当を国の基準を上回る率にすることについて問題はなにか。

△：文部科学省に確認したが特段の問題はなかった。

3 宿舍等の有効活用等について

山崎委員及び財務施設部長から、千代田宿舍及び鷹匠荘について、いずれも老朽化が進み、多額の改修費用が必要であること、また、近年は利用実績がないこと等から、売却することとしたい旨、資料 3 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、本件については、役員会で最終承認後、中期計画の変更手続きを進める旨発言があった。

（意見交換で出された主な意見等）

〔外〕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等〕

⊗：鷹匠荘の利用に関して「トラブルの発生」とあるが具体的にはどのよ

うな内容か。

△：管理人不在のため国籍の違いによるコミュニケーションギャップが生じている。

⊕：廃止しようとしている宿舎は、比較的市内の中心部に位置しているが、大学の情報発信の拠点などとして利用はできないか。

△：地図上では駅付近に位置しているように見えるが、徒歩で数十分のところに位置する住宅街で、サテライト施設として利用するには無理があると判断した。

⊕：留学生の住環境整備は、継続的に進めていただきたい。

Ⅲ 報告事項

1 平成21年度に係る業務の実績に関する評価結果について

浅利委員から、平成21年度にかかる業務の実績に関する評価結果について、国立大学法人評価委員会（H22.11.5）により原案どおり承認された旨、資料4により報告があった。

（意見交換で出された主な意見等）

〔⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等〕

⊕：各大学の評価結果を見ると、東北大学は国際的視点からの外部評価として欧州大学協会機関別評価プログラムを受審するなどの活動が評価されているように見受けられるが、静岡大学はどのような対応をされてるか。

△：欧州大学協会機関別評価プログラムの受審等は、教育研究活動を国際基準で評価し改善に生かす取り組みであり、本学としても将来の課題として受けとめたい。

⊕：前回メール審議の人事評価システムについて、大学独自の評価基準で行うのは当然であるが、メリハリをつけて評価をすべきである。そのため、期末手当に大きく影響させる方法も考慮すべきである。また、一般職員が5段階評価でありながら、教員が3段階評価とする必然性がない。

△：今後更にシステムの検証を行い、改善をしていくこととしたい。

2 平成22年度監事による業務監査の実施計画について

議長から、平成22年度監事による業務監査の実施計画について、資料5により報告があった。

なお、大戸監事から、重点監査項目等について補足説明があった。

（意見交換で出された主な意見等）

〔⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等〕

⊕：内部統制・ガバナンスが求められているがどのように対処しているか。

△：公認会計士による監査と監事監査、学長直属の監査室の内部監査によ

り十全を期している。

⊗：内部監査と監事監査の違いは何か。

△：内部監査は法令や学内規則に反していないかといった点を確認する実務的な監査であり、監事監査は、これらに加えて、大学の運営全体を幅広く捉えて効果的・効率的な運営が図られているかといった点を監査するものである。

3 平成22年度前期の主な取組みについて

(1) 中期計画・年度計画の進捗状況管理体制等について

(2) 施設の有効活用のための整備計画について

(3) 事務組織の再編整備にかかる検討について

(4) 国際交流の推進等に向けた取組みについて

上記事項について、担当理事及び国際交流センター長から、資料6によりそれぞれ説明があった後、意見交換を行った。

(意見交換で出された主な意見等)

[⊗：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等]

(1) 中期計画・年度計画の進捗状況管理体制等について

⊗：中期計画・年度計画の進捗管理システムも重要であるが、意思決定が迅速に行われるための人為的措置も必要でないか。

△：本システムでは、中期計画の74項目について、実施体制責任者として担当理事等を明確にし、対応することとしている。

⊗：学長の所信表明に記載してある「勉強するなら静岡大学」への取組みについて、これまでに実践した事柄はあるか。

△：教育研究組織の再編や理系教育課程の再構築の検討をすすめており、次回本会議で話題提供することとしたい。また、次回は平成23年度以降の予算についても報告したいと考えている。

(2) 施設の有効活用のための整備計画について

⊗：施設の整備計画については、学生の視点を取り入れることが重要である。

⊗：施設マネジメント委員会に学生代表を加え、要望を吸収する仕組みをつくる方法もある。また、劇場・シアター等の機能を有する施設があっても良い。

△：当該委員会での審議前に学生の意見を取り入れるよう取り組んできたところである。劇場・シアターについては、小規模ではあるが、大学会館3階に設置されている。

△：昨年度の図書館の改修においても計画の段階で学生の意見を取り入れている。今年度は、大学会館の整備により学生の集える場所を設けるとともに、保健管理センターも移設させるほか、キャンパスミュージアムも1つの機能として取込む計画であり、学生のための施設ということを十分に考慮している。

△：今後の施設の整備計画として、静岡地区は留学生の居住スペースの確

保、浜松地区は図書館の整備を行うこととしている。

△：今回の施設整備の財源は、今年度の剰余予定額6億円のうち1.5億円を当てることとしているが、先行き不透明の中で剰余金を出すことについても判断が求められるところである。

⊗：なぜ剰余金が出るのか。新しい公益法人は剰余を出すと指摘される。大学も良い意味での先行投資を行うことも考える必要がある。

△：人件費の残額である。

⊗：保育ルームスペースと以前提案された保育所との関係はどのように異なるのか。

△：今回の提案は保育スペースを提供し、保育を利用者が業者に依頼する出張保育（オンデマンド方式）であり、保育所とは異なる。

⊗：保育ルームスペースを確保した後の展望はあるのか。

△：保育所の誘致は困難であり、社会的ニーズが高まるまでは、当面、一時預かりの形態を続けることが最善と考えている。

⊗：保育ルームに隣接する男女共同参画室は、何を行うところか。

△：現在、科学振興調整費で行っている男女共同参画推進関係のプログラムの運営・企画を次年度以降も大学経費で継続的に実施していくための担当者が常駐するスペースである。

(3) 事務組織の再編整備にかかる検討について

⊗：国立大学の運営費交付金は、来年度から一層厳しくなると思われるので、事務再編にあたっては、管理運営経費を削減できる方向で検討することが必要である。

(4) 国際交流の推進等に向けた取組みについて

⊗：学生の海外留学を奨励するために、学部ごとにインセンティブ付与等、特色ある取組みを設けるなど、具体的なシステム作りが必要ではないか。アルバーター大学での取得単位を大学認定単位とする等、学生が留学しやすい環境を整えることが大切である。

△：アルバーター大学等の協定校とは、単位互換が可能である。

⊗：国際交流に関して、協定を締結していない海外の大学との単位互換は可能なのか。

△：取得単位の証明、シラバスがあれば、個別に単位互換が可能な場合もある。

△：留学者の減少は、経済的な負担が大きいことも大きな要因であり、経済的支援も必要である。

反面、4年間で卒業できないというリスクを負ってまでも留学したいという学生が少なくなっている現状もある。

△：留学者は減少しているが、理工系大学院生の海外での研究発表は増えている。

⊗：国際交流、グローバル化が大事である。静岡大学として国際化を強化し、大学の特長にしてはどうか。

⊗：中国では外部資金1千億円を獲得している大学もある。グローバル化

に対応し、大学の特徴を出すため、文系学部でも資金獲得のための努力が必要である。

IV その他

1 平成22年度競争的資金獲得状況一覧について

議長から、平成22年度の主な競争的資金獲得状況について、資料7により報告があった。

2 その他

(1) 財務施設部長から、席上配付資料『財務レポート2010』の紹介があった。

(2) 議長から、席上配付資料『静岡大学広報誌サクセス』の紹介があった。

以上